

## 1 学期 終業式

- ・ 皆さん、こんにちは。今年度の1学期の終業式は昨年度より1日早く、さらに2学期の始業式は1日遅く設定していますので、例年よりも2日長い37日間の夏休み期間となります。
- ・ 夏休み期間中に注意してほしいことなどは、各学年の集会でもお話があり、のちほど、生徒指導主事の宮田先生からも夏休みの過ごし方についてお話があります。また、夏休みのしおりにも書かれていますので、よく読んでおいてください。
- ・ さて、先々週の金曜日に信じられないような大きな事件が日本で起こりました。皆さんも、知っていることと思いますが、元首相が銃撃され亡くなられたという事件です。
- ・ この事件を受けて様々な方々がコメントを残しニュース等でも報道されていましたが、私が印象に残ったコメントを紹介しておきます。
- ・ ある党の代表の議員の方からは、「元首相と私とは、政治的立場を異(こと)にしておりましたが、同じ年に生まれ、衆議院当選も同期であり、同時代を生きたものとして、とても悲しく、寂しい思いだ」と語られました。
- ・ 日本という国をより良くしていくために、国会という場で激論を戦わせてきた二人ではありますが、仲間の死を悼むという思いが強く感じられたコメントでありました。
- ・ 国会は、日本のきまり(法律)を定めるために様々な立場の国会議員が議論を戦わせるところです。1億2千万人をこえる国民の代表が集まって話し合いますので、全員の意見が一致することはたいへん難しいことですが、議論を尽くして最終的に決めていくということになります。

- ・ これを学校に当てはめると、今あるきまり(校則)や約束事は、皆さんの先輩や教職員、地域の方々の意見をもとに議論され、築き上げられてきたものであることは間違いありません。
- ・ このきまりや約束事の中には、変わらず守っていくべきものもあれば、時代や世の中の流れで変わっていくものもあります。このことを短い言葉でいうと『不易と流行』と言います。
- ・ 特に、学校のルールやきまりについては、皆さんの発想・思いも大切ですが、私たち教職員の考えや、皆さんを育ててくれている保護者の皆さんの意見も大切にしなければなりません。
- ・ 国においても同じことですが、全員一致で決められることは難しいことですが、議論を深めることで、多くの人に賛成してもらえらる考え方に近づけるとというのが民主主義のやり方です。
- ・ 北稜中学校では、さらに、皆さんが安心して安全に生活できるように、生徒会や各委員会・学級等で話し合われた内容が、集会や新聞(通信)・放送によって知らされており、みんながそのことをきちんと守って生活できていることは、本当に素晴らしいことだと思っています。
- ・ 2学期以降も、北稜中学校がさらに良い学校になるために、一人一人の思いや考えを大切に、話し合いによって物事が決められる安全で安心な優しさ溢れる学校になることを心より願っています。
- ・ では、2学期の始業式で、皆さんの元気な姿でお会いできることを楽しみにしています、